平成27年度　目標管理シート（課別組織目標）

課かい名	国保ねんきん課	課かい長名	小川　正芳

組織目標	保険・年金事業の健全な運営を確保し、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与し、以下の3点を重点的に取り組みます。 ①疾病予防・健康保持及び医療費適正化の推進 ②国保税・後期高齢者医療保険料の収納の確保 ③制度改革への的確な対応

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号		①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等	具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー　（10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
国保ねんきん課①	**疾病の早期発見による重症化予防対策** 健康福祉部②	①具体的目標	疾病の早期発見による重症化予防、被保険者の健康に対する意識向上により、年々の増加傾向にある国保・高齢者医療費を抑制し、国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業の健全な運営を図る。	①疾病の早期発見、早期治療による健康の保持増進を図るため、脳ドック検査費用の一部を助成する。 ・脳ドック助成…760名分 〇4・9月…「国保だより」による募集、FMやつしろでの広報 ②疾病の重症化予防、症状の緩和のため、はり・きゅう等施術助成を実施する。 ・国保…延9,600回分 ・後期高齢…延9,000回分 ③国保重複・頻回受診者を訪問し、療養上の日常生活指導及び適正受診に関する指導並びに服薬指導等を行うとともに自主的な健康づくりを支援する。 ・国保重複・頻回受診者訪問…90件 ④人間ドック情報提供事業をH27年度から開始し、自らの費用で人間ドックを受診した被保険者に対して特定健診受診率向上及び特定保健指導の実施に結びつける。 ・人間ドック情報提供事業…300人						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	【課題】 国保・高齢者医療費は増加傾向にある中、H25年度の国保1人当たり医療費が前年度比4.3%の大幅増となるなど、医療費適正化は最重要課題となっている。 【特記事項】 保健事業の専門的知識を有する健康推進課と連携して取り組む。							②課題・特記事項等	
国保ねんきん課②	**ジェネリック医薬品の普及啓発と使用促進** 健康福祉部②	①具体的目標	医療費に係る啓発活動を通して、被保険者一人ひとりの健康づくりへの自覚を促し、市民保健の向上に寄与することにより、国保医療費の年々の増加傾向を抑制する。 ジェネリック医薬品差額通知により、下記目標を達成する。 ・目標利用率…34% ・目標効果額…5,000千円	①国保被保険者全世帯へ医療費通知を送付し、適正受診の推進及び診療報酬の不正請求の防止を図る。 〇4月…11～1月診療分 〇7月…2～4月診療分 〇10月…5～7月診療分 〇1月…8～10月診療分 ②ジェネリック医薬品希望シールを配布するとともに、ジェネリック医薬品差額通知を送付することにより、先発医薬品より安価なジェネリック医薬品の使用を促進し、被保険者の薬にかかる自己負担額の軽減と国保医療費の抑制図る。なお、普及促進のため、対象年齢を30～74歳とし、特定健診の対象となる年齢以前からとする。 〇通知…年2回、8・2月						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	【課題】 ジェネリック医薬品差額通知は、H24年度以降の実施のため、現時点では十分な検証行うためのデータが不足している。 【特記事項】 熊本県国民健康保険団体連合会と連携して取り組む。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
国保ねんきん課③	**国保税・後期高齢者医療保険料の収納の確保**	①具体的目標	被保険者の保健の向上は、保険事業の安定運営を基盤とすることから、国民健康保険・後期高齢者医療保険財政の恒常的な健全性が維持できるよう、保険税（料）収納を確保し、滞納対策を継続する。 また、被保険者の納税及び納付における利便性向上を図るため、H28年度からコンビニエンスストア収納を開始するために必要な準備措置を講ずる。 目標収納率（現年度分） ・国民健康保険…93.2% ・後期高齢者医療保険…99.5%	①適正な賦課を基として、短期被保険者証、資格証明書の交付等による納税機会の確保を通じた滞納対策を行う。 ・（国保・後期）短期被保険者証による収納促進 ・（国保）資格証明書等交付審査会の開催 ・（後期）電話催告・戸別訪問 ・（後期）財産調査・滞納処分 ②コンビニ収納を開始するために、税収納を主管する納税課を中心に税賦課を所管する関係課かい等との連携により、下記業務に取り組む。 〇5月…プロポーザル実施要領協議 〇10～1月…印字等各種動作テスト 〇2月…納付書納品						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	【課題】 国保の収納率はここ数年現状を維持しているものの、被保険者数の減少により、収納総額は減少している。コンビニエンス収納については、新規取組のため、十分なテスト等を行う必要がある。 【特記事項】 税収納を主管する納税課や、税賦課を主管する市民税課との連携による取り組みが必要である。							②課題・特記事項等	
国保ねんきん課④	**国保の都道府県化への円滑な移行への準備**	①具体的目標	平成30年度からの国保の都道府県化への円滑な移行に向けて、制度その他体制の整備のための準備を行う。	県と市町村の協議部会への参加を通じて、本市国保事業の安定運営の維持向上に向け、国保税、保健事業の見直し等を検討するため情報収集を行う。 ・制度改正等の情報収集及び対策の推定 ・療養費取扱いの推定 ・保険給付費等交付金の推計						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	【課題】 県及び市町村ともに、国保事業始まって以来の取組のため、円滑な制度移行のため、今年度は、課題を抽出する必要がある。 【特記事項】 県と市町村の協議部会により検討する。 ・財政調整・保険料（税）部会…5・7・9・11・1月予定 ・保険給付費等交付金部会…同予定 ・医療費適正化・療養費支給部会…同予定							②課題・特記事項等	
国保ねんきん課⑤	**年金事務の適切な執行**	①具体的目標	生活困窮者自立支援や年金生活者支援給付金等国民年金に係る制度改正については、広報等を通じ滞りなく周知を図り、円滑に対応できるよう適切な事務執行を行う。	①生活困窮者自立支援制度の適用を受ける年金被保険者の保険料免除措置該当者を把握し、自立支援制度窓口である社会福祉協議会との情報共有により、被保険者に免除手続き等を勧奨する。 ②年金生活者支援給付金制度がH29年度実施に延期されたことに伴う対応及びシステムの準備を行うとともに、制度等に関する市民相談を適切に行う。 ③年金事務の適切な執行を行うために、上記①、②の業務内容も含め、広報等により広く市民に周知を図る。 ・やつしろインフォメーション出演…年3回、6・10・1月 ・広報やつしろ特集号掲載…年2回、7・2月						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	【特記事項】 日本年金機構やつしろ年金事務所との綿密な連携が必要である。							②課題・特記事項等	